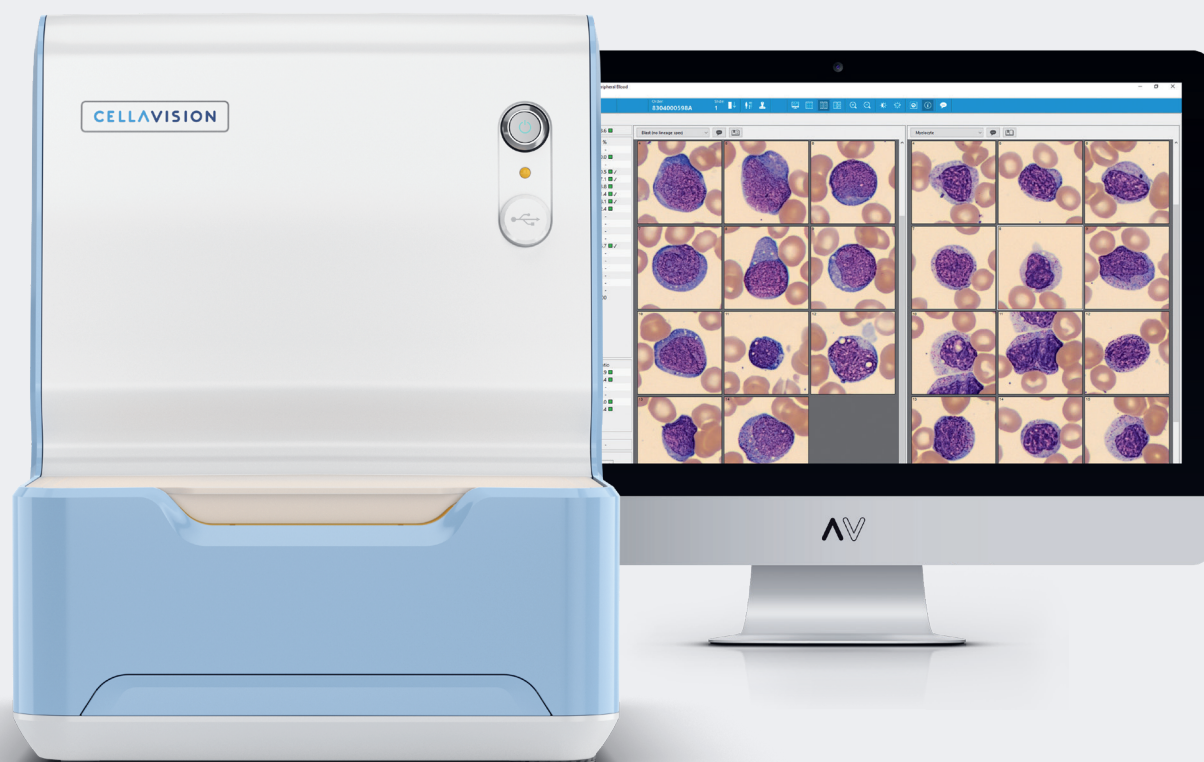




CellaVision® DC-1

CellaVision DC-1 は、小規模な検査室における血液細胞分類プロセスの自動化および簡素化用に設計されています。高速ロボットとデジタルイメージングを駆使して細胞を自動的に検出し、高品質画像を撮像・解析します。スタンドアロンおよびネットワーク、両方のインストールが可能。

CellaVision DC-1 は、独立した小規模な検査室における細胞分類作業のプロセスを刷新します。

医療ネットワーク内の小規模なサテライトサイトで CellaVision DC-1 を使用すると、血液塗抹のプロセスと確認をローカルおよびリモートで行えるようになり、他のサイトの検査技師や熟練臨床検査技師との連携が向上します。

主な特長

血液塗抹標本細胞の
デジタル画像を撮像・解析

WBC、RBC、および PLT の
分析を自動化

対象検体を
デジタルスキャン

設置面積の小さい
コンパクトなデザイン



CellaVision® DC-1

技術仕様

スライド処理

- 研磨縁、クリップ角、丸角、直角のスライドに対応
- スライドのオーダー ID は、手動により、またはオプションのバーコードリーダーにより入力
- スライドは 1 枚ずつ装填
- 血液塗抹スライドを分析

油浸オイル

手動オイル供給

品質管理

- ハードウェアと染色液の品質確認のための細胞検出精度テスト
- 塗抹標本チェック内蔵

結果と画像のアーカイブ化

LAN 使用

ストレージ能力

- 一次ストレージ: ローカル・ハードドライブ: 最大1,500 スライド(20 GB)
- 二次ストレージ: 外部ストレージメディアへの転送は無制限

対応プリンター

Windows 対応のレーザープリンター/インクジェットプリンター

通信

- 双方向 LIS 対応、ASTM
- Ethernet 10/100 Mbit/s
- 複数の CellaVision® DM/DC アナライザーによるデータベース共有

システムコンポーネント

- PC と Windows 10 を備えたスライドスキャン装置
- CellaVision® DM ソフトウェア

電気関連

アナライザー

- 入力電圧 12 VDC
- 入力電流 7 ADC

電源

- 電圧入力、電源 100~240 V
- 電圧周波数、電源 50~60 Hz
- 入力電流 1.2~0.6 A

寸法 (幅 x 奥行 x 高さ)

- 280 x 390 x 370 mm

重量

11 kg

処理量*

注: 処理時間は血液塗抹の品質、WBC 濃度、非 WBC 数によって異なります。
最大 10 スライド/時間 (100 WBC + RBC + PLT)

スライド作成方法 (ウェッジ法)

- 自動スライド作成・染色装置
- RAL SmearBox & RAL StainBox
- HemaPrep®/MiniPrep® 自動血液塗抹機器
- マニュアル作製塗抹

染色

- ロマノフスキー染色 (メイグリュンワルドギムザ、ライトギムザ染色、ライト染色、MCDh)

ソフトウェア/アプリケーション (オプション)

- CellaVision® Remote Review Software
- CellaVision® Server Software
- CellaVision® Proficiency Software
- CellaVision® Dashboard

*処理時間は血液塗抹の品質、WBC 濃度、非 WBC 数によって異なります。